

# 第9回 豊川流域治水協議会の開催

近年の激甚化・頻発化する水害に備え、豊川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減する治水対策「流域治水」を計画的に推進することを目的として、「豊川流域治水協議会」を適宜開催しています。

今回「第9回 豊川流域治水協議会」を開催し、令和7年度の関係者の取り組み内容を相互に確認するとともに、更なる「流域治水」の加速化・深化に向けて協議・情報共有を行いました。

## 【開催概要】

日時：令和8年3月6日（金）  
13：00 - 14：30

会場：豊橋商工会議所・WEB

## 【主な議事】

- ・豊川水系流域治水プロジェクト2.0の取り組み状況
- ・豊川水系内外水統合型水害リスクマップの公表へ向けて
- ・更なる流域治水の加速化・深化に向けて
- ・その他 等



## 【議事概要】

- ・組織改正に伴う役職の変更について規約改定を提案し、承認された。
- ・流域治水の推進を目的に、水災害リスクを踏まえた防災まちづくり等への活用が期待される内外水統合型水害リスクマップを令和7年度に公表する。
- ・更なる流域治水の加速化・深化に向けて、各構成員における取り組み状況や自分事化に資する令和7年度の水害状況、国土交通省における流域治水のソフト施策等について共有した。
- ・流域総合水管理の推進に向けて、令和7年度の渇水状況や流域総合水管理の目指す方向性、取組事例等について共有した。

## 【主な発言】

- ・豊橋市：近年、自然災害が激甚化・頻発化しており、また渇水も大きな課題となっている。移動式排水ポンプの導入に加え、第6次豊橋市総合計画の後期基本計画において、現在は農業用に利用されていないため池の有効活用等、流域治水の考え方を踏まえた取組を推進していく。
- ・豊川市：災害時に自分や家族の命を守る行動につなげるため、自主的な避難行動を意識・検討するきっかけとして、出前講座を実施している。
- ・新城市：洪水緩和、水資源の貯留、水質浄化等の水源涵養機能を有する森林を適切に管理するため、林業活動による整備等を推進している。
- ・愛知県：豊川流域が有するポテンシャルを最大限に活用するため、水源地である森林から治水や水利用を含めた水循環をキーワードに、流域の関係者が一体となってカーボンニュートラルの実現を目指す取組を推進していく。
- ・水資源機構：流域治水・流域総合水管理の観点から、出水時は事前放流を活用し被害軽減を図っていく。